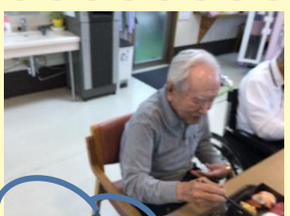
みずばしょう

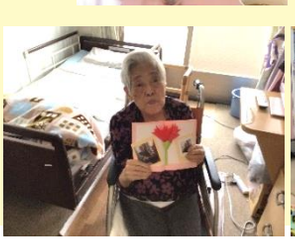
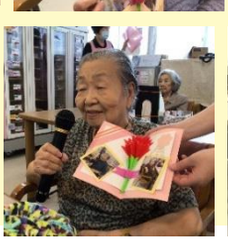
『　母の日　特集　』

5月号

五月九日の「母の日」

今年も母の日の催しをさせていただきました。色とりどりのカーネーションを前に、記念撮影をし、スタッフ手作りのカードをプレゼントさせて頂きました。



今月のイベント食です！

母の日　豆知識

母の日のプレゼントといえば、定番はカーネーションですが、なぜカーネーションなのでしょうか？また、日付は「〇日」と特定の日ではなく、5月の第2日曜日なのでしょうか？母の日の由来やカーネーションであることの意味、さらにカーネーションの色と花言葉についてまとめました。

母の日の日付とカーネーションの由来

母への感謝を表す母の日の起源は、世界中で様々あり、日付も異なりますが、日本ではアメリカに倣って5月の第2日曜日になりました。

アメリカの母の日の起源は、戦場の負傷兵の衛生改善活動を行ったアン・ジャービスの娘、アンナ・ジャービスが、1907年5月12日、亡き母をしのんで母が教師をしていた教会に、母が好きだった白いカーネーションを祭壇に飾りました。

これに感動した人々が、その翌年の1908年5月10日、同じ教会で、470人の生徒と母親達が「母の日」として祝いました。

アンナはこのときの参加者全員に同じく白いカーネーションを手渡しました。

これにより、白いカーネーションが母の日のシンボルとなり、1914年にアメリカが5月の第2日曜日を「母の日」として記念日に定めました。

今では赤いカーネーションが定番ですが、始まりは白いカーネーションだったんですね。

母の日のカーネーションの定番はなぜ白から赤になったのか？

先ほど述べた通り、今では赤いカーネーションが定番ですが、始まりは白いカーネーションでした。

ではなぜ白から赤に変わったのでしょうか？

クリスチャンの間では、白いカーネーションは、十字架に架けられる前のキリストとマリアを表し、赤いカーネーションは、十字架に架けられた後のキリストの赤い血を表しているといわれています。

アンナの母はクリスチャンだったので、アンナも、カーネーションの花の意味を知っていたでしょう。

その後こう区別するよう提案されました。

・母が健在の人は赤いカーネーション

・母を亡くした人は白いカーネーション

（白の方が健在を表しそうですが、アンナは亡くなった母に白いカーネーションを送ったからでしょうか？）

しかし、これにより気持ちが傷つく子どもがいるのではないか？という声があがるようになり、赤いカーネーションが定着するようになりました。

今月のおやつ

６月の予定

未定

施設からのお知らせ

５月からコロナウィルスの
予防接種が始まります。
予定としては、６月中に
2回目を終わらせる予定です。

空室状況

6月1日現在♪

らいふつくば花畑

空室　0